

# 簡易揚水試験の目的と概要

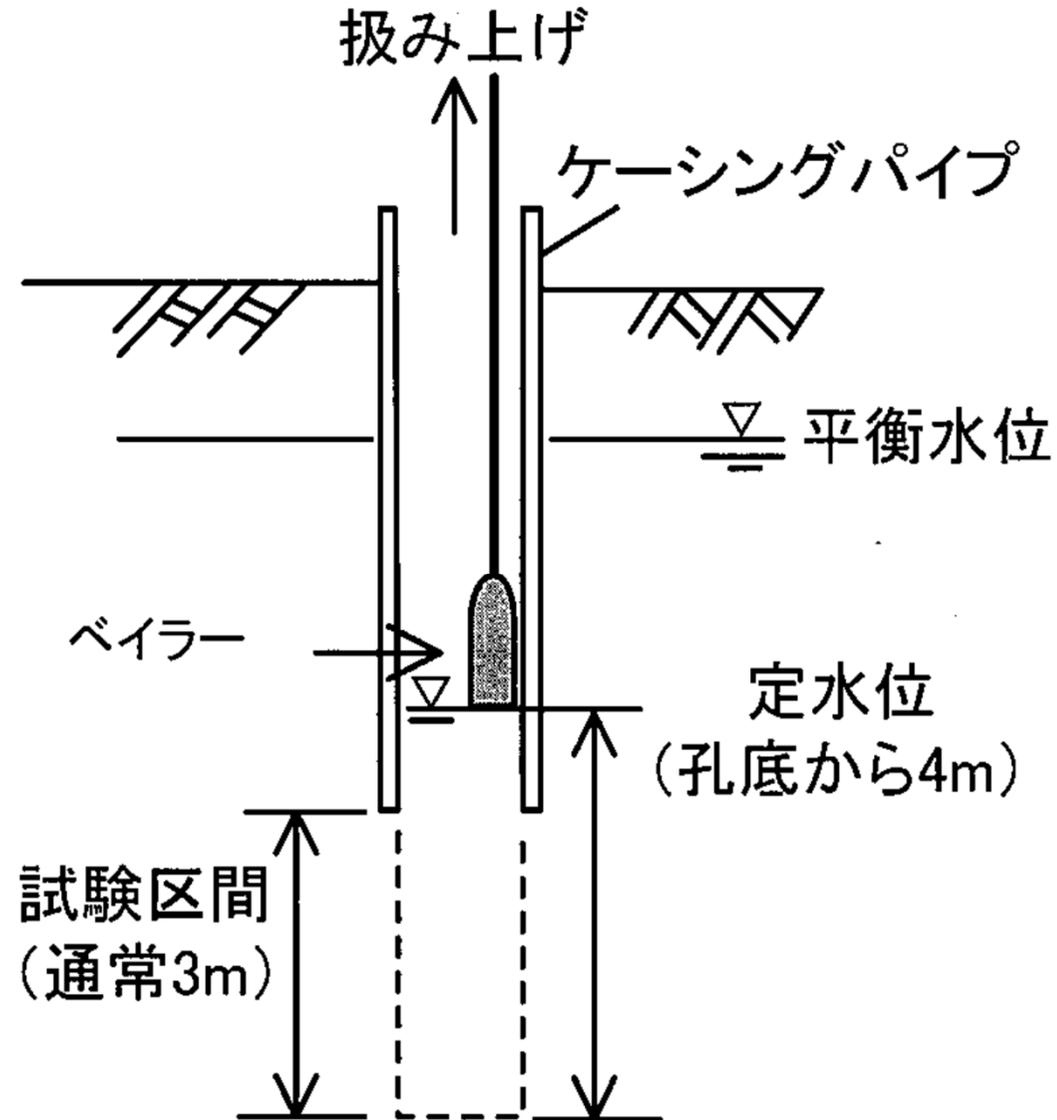
## 目的

- 地層の透水性の把握

## 概要

- ボーリング孔を利用して、簡易な揚水器（ベイラー等）により揚水し、揚水量と水位を測定する
- 試験区間長は2～5mの裸孔部。通常は3mとして、3m毎に実施することが多い

# 簡易揚水試験イメージ



# 簡易揚水試験 留意事項

## 試験精度の改善・揚水時における孔内水位の保持

- 可能であれば揚水を工夫して、水位を一定に保つ

## 揚水時間の検討

- 揚水時間の設定は地盤状況に合わせて

## 孔内水位の測定

- 測定には触針式水位計を用いるのが一般的
- 透水性が高い場合には、自記水位計を使用することがある。ケーブルの損傷やジャミングに注意

## 平衡水位の確認

- 回復法においては、安定した水位を平衡水位としている
- できれば、翌朝水位を平衡水位としたい
- 地下水位の経時変化から予測する場合もある

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成